

健昂の意氣に燃えて 區會廢止反對區民大會

問題益々紛糾の兆

湯本町の區會廢止問題は町の諸氏交々起つて熱烈なる會と區會の懇談會が決議し語調に經過の報告あり同た事によつて益々紛糾の深き時より引續いて區民大會に入り昨夕刊報の如く會に移り比佐賢司氏より當十四日午後八時より同町三日出願半井内務部長に會見願に於て區民大會の開催事情の具申した願末を報告を見るに至り區民側は意氣に併せて今回町會の決議せざるを望むるものがあるが

健昂なるものがあるが

之れより先き平署では萬一に誤りある點を指摘し不入の警官を派して會場内外を警戒し最初區會廢止經過報告會は定刻八時開演久一郎氏開會の辭を述べ續いて

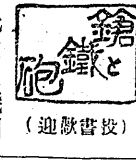
區會廢止決議願末白

△區會廢止決議願末白 湯本町區會廢止決議願末白 湯本町區會廢止決議願末白 湯本町區會廢止決議願末白

越權と横暴なる 町長町議を懲せ

區民大會の決議

此の頃より湯本の區民等は議文起草委員として歸國賢益々多勢を加へ愛町の意氣治氏外若千名を挙げ右委員健昂たるものも動機によれば別室に於て起草のり若松高平氏一議長に推し



先生の餞別

先生は餞別 先生は餞別 先生は餞別 先生は餞別

先生は餞別 先生は餞別 先生は餞別 先生は餞別

ひ町會議員を糾弾するもに見られてゐるのなり 昭和二年七月十四日 大字湯本 區民大會 石城郡内郷村津川炭礦工友會三部長女伊藤ハルヨ二八

脱走女工二名 路頭に迷ふ

石城郡内郷村津川炭礦工友會三部長女伊藤ハルヨ二八 同村方造長女藤井ナカオ

按ずるに及ばぬ 商港指定は確實

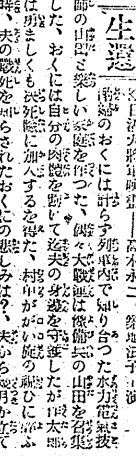
第二種重要港灣に 計劃順調に進行 湯本町で今年度商港指定の港灣を第一種第二種に區別した各縣商港補助費第一種港灣は全部國費

馬鹿げた競争で 自動車屋経営難

平署當局の成案 石城郡地方に於ける自動車等の中町を中心に八方に自動車網が敷かれた競争で

益々蔓延の兆ある 郡南の稻熱病

豫除方法に腐心 大山技師原因を確め 連日の早天続きに石城郡地稻熱病発生しそのまよ本田



生還

生還 生還 生還 生還 生還

小田の新坑 行人澤の成績

石城郡新坑村小田炭礦では 本春新に同村行人澤地内 幹坑の掘進作業に着手し

後十日に迫つて 音もない嵐の前

責任観から出過ぎりか 賃貸委員選舉觀 石城郡各町村に於て来る二困難であるかは郡内各町村

果樹栽培講習 郡農會で輪施

郡農會で輪施 石城郡下は近年果樹園藝の 栽培講習となり逐々非常な 成績を挙げているが来る

奉仕的實現 七月十六日より三日間

三井の特價大賣出し

●モス着尺 大特價 金三圓九十錢
●足袋 朱白キヤロコ 金二十錢
●壹圓均一 木綿 綿形 染かすり
●其他數々掘出しの澤山
▲海水浴着 海水浴帽子 其他種々

最も流行品豊富に取揃へ申候 新館階上陳列縦覽御隨意

平町三丁目 電話三八番

尼子稻荷祭 藝妓の手踊

平町長橋町尼子稻荷神社祭典は十六、十七の兩日執行中等青年分團では川崎分團等が十六日の夜は新町町竹の家連中の手踊、十七日は榕御與の渡御あり非常な賑ひを豫想されてゐるが藝妓手踊の役割は左の如し

△將門(光國)彌奴(龍夜叉姫)すめ(三味線)小つや、小菊、おかめ
△喜撰(法師)小菊(茶汲女)すめ(迎坊主)福丸(きみ子、ふき子)三味線)小つや、おかめ(以上)

營業所新設紀念 四倉間乘自動車割引

今般平町二丁目平銀行前に營業所新設紀念として當新設營業所より御乗車の御方に限り

ニクはミフミ
2×9=3×2×3
モシ。モシもミフミ
=4+=4=3+2+3

電話三三三番

金貳拾錢

四倉迄
平町
電話二三〇番

尼子自動車部

電話二三〇番

會田時計店

電話三六三

情緒豊かな郷土の藝術

皆さんの土皆さんの水
東北の山河が生んだ
懐かしの俚謠
其他新譜色々倒着致しました。

平町四丁目
電話三六三